

テーマ：議会広報クリニック
会場：京都テルサ
日時：2019年8月8日 14:00～17:00
講師：エディター・広報アナリスト 吉村潔様

1. 研修・調査内容

議会広報広聴特別委員委員長として初めて委員とともに作成した議会だよりが、今後どこを改善していくべきかを専門家の視点で批評していただきたいと考え講座を選択した。議会の情報を市民に伝える唯一の紙媒体であることから、より手に取ってもらえるような仕掛けづくりを検討していきたいと考え講座に臨んだ。

講座内容としては受講した議会だよりを順に公表し、参考事例などを指し示しながら全体のスキルアップを図っていくというスタイルであった。東かがわ市議会だよりについては、事前に62号、63号を提出し、新旧比較の評価をいただいた。

2. 研修成果

東かがわ市議会だよりの批評については後半に記載する。他自治体については別添資料を参考にしてほしい。また心に残った、東かがわ市議会にも取り入れたいと思った先進地事例の話や、講師のアドバイスを記載する。

- ・色は装飾ではなく、情報である（色によってイメージできる仕掛けづくり）
- ・墨に1色だけ色を入れると注目度が増す。多色より色数を抑える工夫も必要
- ・名前には必ずルビをふる
- ・見出しのレイアウトは自由に。文字数より読みやすさ、注目度を意識する
- ・やったことではなく、それを今後どう生かそうとしているかの記事が重要
- ・変えていくためには多少の思い切りは必要。しかしコンセンサスは常に意識するように
- ・市民に参加して記事を書いてもらうページを作る

3. 今後の行動計画

他の市町議会広報誌や講師の批評から現在の委員会として取り組もうとしている内容については、今の考えを継続し進めていけばいいと改めて実感することができた。専門的な言葉（委員会名称等）をとかく冒頭に持ってきがちだが、まずは市民が関心のあるテーマを表題として用いることで、より興味を持てる媒体づくりに取り組んでいく。

東かがわ市議会だよりの批評①

[表紙]

Good job Reason

- ・単なる目次がなくなり、特にみてほしい内容を大きな文字であおりとして入れている。
- ・全体写真を使うことで、一点に集中して意識が持てる。

Hang in there & Advice

- ・なぜ鳥の写真か意味が最初は分からなかった。
(地域が書かれていることで理解できた)
- ・表紙で全てが決まるので、意味を持たせる。また中を開かせたくなると思わすものを意識的に取り入れよう。



[特集]

Good job Reason

- ・当初予算を家計簿に例える事で、大きな予算を市民感覚に近づけようとした事が良い。
- ・これまでと違い、特集を作ることでより市民への理解を求めようとした姿勢が見られる。

Hang in there & Advice

- ・写真を使っているが、写真のキャッチをもっと工夫することで関心もたれるのではないかと。写真は自動的に目が行くので、キャッチだけで伝えたい内容が分かればより広報力が上がる。
- ・全体的に書き方が固い印象を受ける。同じような試みを実践している広報もあるので今後様々な取り組みをしてほしい。



東かがわ市議会だよりの批評②

[委員会の記載]

Good job Reason

・わかりにくい内容にもかかわらず、写真を入れるなど視覚的に見やすい工夫がみられる。1つの記事に1枚の写真を入れるという工夫を多くの自治体でも取り入れているので参考にしてほしい。

Hang in there & Advice

・特集と同様に写真のキャッチ。
・委員会や課の名前を市民は知りたいわけではなく、具体的に何がどうなるかという事を知りたい。タイトルにつけるなら、興味を持つ内容を優先的に記載してほしい。



[一般質問]

Good job Reason

・紙面だけでは伝えられない内容を電子媒体とリンクさせるためQRコードを付けたのはいい工夫。
・1枚に2名の質問が掲載されているが整理され見やすい枠組みが工夫されている。
・写真やイラストを入れている記事もあった。関心を持ってもらうという意味でもできるだけ写真やイラストを入れる様、これからも継続してほしい。

Hang in there & Advice

・タイトルが長すぎると、関心のある人以外読もうとしなくなる。(目が行く順は、写真→タイトル。興味があれば中身を読む) タイトルは興味を引くように短く簡潔である方が望ましい。



東かがわ市議会だよりの批評③

[裏表紙]

Good job Reason

・写真が多く目を引く。裏表紙は最後のページではなく、表紙に次ぐ宣伝媒体である。

Hang in there & Advice

・議会日誌だが過去にあったことの羅列をされても関心を持たない。むしろその中で特に知ってほしい内容を写真付きで紹介するなどして、記載から宣伝への意識にしてほしい。

